

あおば学級道徳学習指導案

日 時 平成21年11月20日(金) 2校時
対 象 あおば学級(男子3名 女子1名)
指導者 T1 藤原 誓子 T2 佐々木 和歌
T3 梅内 智恵子

- 1 主題名 おばさんありがとう (尊敬・感謝 2-(4))
- 2 資料名 はじめてのおるすばん (日本標準 みんなでかんがえるどうとく 1年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

本時に扱う価値「尊敬・感謝」は、学習指導要領第3章道徳の目標及び内容の第1学年及び第2学年の内容の2「主として他の人とのかかわりに関すること」の(4)に「日ごろ世話になっている人々に感謝する。」とある。これは、中学年の2-(4)「生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。」さらに高学年では2-(5)「日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。」に発展していく。

「尊敬・感謝」とは、互いを認め合いながらよい人間関係を築いていく根底となるものである。自分たちの生活が、多くの人々の善意や助けによって成り立っていると認識したとき、相手に対する尊敬と感謝の念が生まれるものである。私たちの生活は多くの人たちの善意によって支えられ、助けられて成り立っている。自分が安定した生活を送ることができるのは、多くの人によって支えられているからである。これらの人々の善意に気づき、ありがたいと思うことが感謝の気持ちである。そして、それらは、日々の生活、さらには自分が存在することに対する感謝へと広がり、生命尊重や人間尊重の精神を支えることになる。

何気なく過ごしている日常の生活の中で、自分たちが日ごろお世話になっている人たちの存在を認識し、その人たちの自分に寄せてくれる善意について理解することは、感謝の気持ちを深めるために必要であると考えられる。

児童は、学校生活に限らず、あらゆる場面で多くの人たちの支援を得ながら生活したり活動したりしている。そこで、感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、支えてくれる人たちへ心を込めて「ありがとう」の言葉を伝えたり、自分たちの行動に表したりしていくことが、互いを認め合いよい人間関係を構築していくことに結びついていくと捉えることで、感謝の心をもって接しようとする気持ちを深めていきたい。

(2) 児童について

省略

(3) 資料について

本資料は、主人公がひとりで不安げに留守番をしていると雨が降り、洗濯物を取り込むことに困っているところ、隣人のおばさんから手伝ってもらったという話である。主人公の不安な気持ちがおばさんの善意によって安堵感に変わっていくことに共感し、おばさんの主人公に対する気持ちを知ることによって、身近な人たちの善意に気づき、感謝の気持ちをもって接する心情を育てるために適した資料である。

(4) 指導の態度

「気づく」段階では、資料と同じような体験を想起させるために、子どもたちが初めて体験した留守番の様子を記録した写真などを用いる。さらに、ペープサートや紙芝居などを提示し、資料への導入を図っていく。

「深める」段階では、主人公が初めて留守番をしたときの不安な気持ちに共感して考えることができるように、留守番の様子の写真を用いる。「つかむ」段階では、役割演技を取り入れ、主人公の気持ちに寄り添うことができるような場を設定する。

「広げる」段階では、日常の生活体験を想起させるような話、日記文や写真などを紹介しながら、日ごろお世話になっている人たちへの感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づかせたい。「まとめる」段階では、図書ボランティアの方の読み聞かせなど、ボランティア活動の思いや考えを紹介し、自分たちの生活がいろいろな人たちの支えによって成り立ち、その善意を知ることにより「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えていこうとする意欲を高めていきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学年行事	始業式 運動会 1年生を迎える会 交通安全教室	運動会 安心教室 開校記念日 自動総会	合同運動会 学校美化の日 参観日 誕生集会 学習旅行(6年)	終業式 防犯教室 陸上記録会	始業式 学校参観日 郊外学習(4年)	学校美化の日 球技大会鑑賞教室 祖父母交流会(1年)	参観日感謝集会 郊外学習(1年) マラソン大会 心の劇場鑑賞(6年) パイプオルガン鑑賞 チャリティー・コンサート	合同作品展 誕生集会図書祭り 連合音楽界(6年)	終業式 合同学習発表会 安全教室(6年)	始業式 学校参観日 誕生集会 冬の体育教室	参観日 スキー教室	修了式 卒業式 6年生を送る会	
各教科	国語(年間) 友だちの発表をよく聞き、反応する。		算数(年間) 友だちの考えをよく聞き、反応したり、自分の考えを発表したりする。		音楽(年間) 友だちの歌や演奏を聞き、互いのよさを認め合う。		図工(年間) 友だちの作品のよさを認め合い、楽しく作品作りをする。		体育(年間) 互いに励まし合い、楽しくゲームや運動を行う。				
道徳の時間	指導要領の内容項目2の(4) 日頃お世話になっている人々に感謝する。		第1時(6月) 資料名 がっこうたんけん(東書) ねらい 日頃お世話になっている人たちに感謝する気持ちを育てる。 反省		第2時(11月) 資料名 はじめてのおるすばん(目標) ねらい お世話になっている人たちに感謝の心をもって接しようとする心情を育てる。 反省		第3時(3月) 資料名 ありがとう6年生(学研) ねらい お世話になった6年生に、感謝する気持ちを育てる。 反省				尊敬・感謝		
総合的な学習 生活単元学習	菊の花を育てよう 菊の花の博士に感謝の気持ちをもちあいさつや言葉を通して伝え、菊作り知る。		街をたんけんしよう① 乗り物・公共施設や商店でお世話になった人たちにあいさつを通して感謝の気持ちを伝える。		街をたんけんしよう② 乗り物・公共施設や商店でお世話になった人たちにあいさつや手紙を通して、感謝の気持ちを伝える。		収穫のお祝いパーティーをしよう 収穫した野菜を使って、パーティーを開き、お世話になっている人たちを招き、感謝の気持ちを育てる。		街をたんけんしよう③ 乗り物・公共施設や商店でお世話になった人たちに挨拶や手紙を通して、感謝の気持ちを言葉で伝える。				
自立活動 日常生活	朝の会・帰りの会(年間) 友だちの発表を聞き、心のこもった拍手をする。		登校・下校(年間) 送迎の家族やタクシー会社の人たちに感謝言葉を伝え、元気よくあいさつをする。		基本的な生活習慣 互いのよさを認め合い励まし合いながら生活の充実を図るために取り組む。		健康・心理的な安定・環境・身体の動き・コミュニケーション 友だちのよさを互いに認め合い、心身の調和を図りながら自立活動を行う。						
特活・行事・日常生活	運動会 友だちの頑張りを認め、友だちや地域の人たちに支えられていることを知り、感謝の気持ちを伝える。		合同運動会 友だちの頑張りを認め、友だちや地域の人たちに支えられていることを知り、感謝の気持ちを伝える。		誕生集会 自分や、友だちの誕生の喜びを感じ、家族への感謝の気持ちをもつ。		感謝集会 地域の方や日ごろお世話になっている方々によって、支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもつ。		合同作品展 友だちの作品のよさを認め、楽しく作品を作ったり鑑賞したりする。		6年生を送る会 お世話になった6年生へ感謝の気持ちを持ち、あいさつや言葉や行動で伝える。		
	学習旅行 リーダーや班員の人たちに、感謝の心を持ち一緒に行動する。				連合音楽会 友だちの歌を聞き、互いのよさを認め合い、練習を行う。他校の発表のよさに気づき、鑑賞する。		情報教育 指導者(大学生)の方々に感謝の気持ちを持ち、パソコン学習に取り組む。		合同学習発表会 友だちや他校の演技のよい所を見たり聴いたりしながら鑑賞する。友だちのよさを認め、練習に取り組む。				
			なかよし遊び 感謝の心を持ち、リーダーの話をよく聞き、グループの人たちと仲良く遊んだり活動したりする。				図書館の利用(年間) ボランティアの方々に感謝の気持ちを持ち、読み聞かせの時間を楽しむ。委員会の活動に感謝し、図書を利用する。		清掃活動(年間) 2年生に感謝の言葉を伝え一緒に清掃活動を行う。				

5 本時の指導

(1) ねらい

お世話になっている人たちに、感謝の心をもって接しようとする心情を育てる。

- ・A—友だちの話や挿絵などを手がかりとして、自分の言葉や表情で主人公の気持ちを表現することができる。支えてくれた人へ感謝の言葉を伝えることができる。
- ・B—自分の言葉や表情で主人公の行動や気持ちを表現することができる。学校や家庭生活の中で、自分が感謝の心をもって接したことがある体験を発表することができる。支えてくれた方の善意を理解し、感謝の言葉を伝えることができる。
- ・C—大事な言葉を手がかりとし、自分の言葉や表情で主人公の行動や気持ちを表現することができる。学校や家庭生活の中で、自分が感謝の心をもって接したことがある体験を発表することができる。支えてくれた方の善意を理解し、感謝の言葉を伝えることができる。
- ・D—友だちの話や挿絵などを手がかりとして、自分の言葉や表情で主人公の気持ちを表現することができる。学校や家庭生活の中で、自分が感謝の心をもって接した体験を発表することができる。支えてくれた方へ感謝の言葉を伝えることができる。

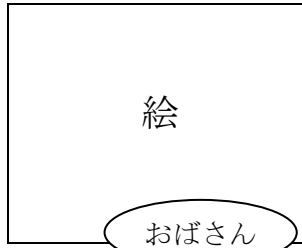
(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (◆仮説にかかわる手立て)	
			T 1	T 2・T 3
気づく 5分	<p>1 児童が家で取り組んでいる様子を想起する。</p> <p>○みんなが家でお留守番をしている様子を写真に撮ってもらいました。その写真を見ましょう。</p> <p>○今日のお話には、初めてお留守番する男の子が出てきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりではできるよ。 ・曾ばあちゃんと一緒に留守番するよ。 ・初めは、ドキドキしたよ。 ・えっ。 ・本当に。 ・楽しみ。 ・うれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童が学習している様子の写真を使い、資料の主人公の気持ちを自分と重ねて考えていくことができるような導入を図る。 ◆大型の挿絵やペープサートを提示しながら資料への導入を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童A・B(T 2)と児童C・D(T 3)の近くに位置し、落ち着いて学習ができるよう児童の様子を見ながら声がけをする。
深める	<p>2 資料「はじめてのおるすばん」を読み、感想を発表し 課題を確認する。</p> <p>○お話を読んで、よかったところはどこですか。</p> <p>○今日は、なお君の気持ちについて考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こここのところです。(場面を指し示す。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートを使い、絵を黒板に貼りながら資料を読む。あらすじを説明する。 ・場面ごとの絵を活用しながら資料の内容の理解を図る。 ・児童の実態から課題を提示せず場面の絵に吹き出しを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して話を聞くことができるように、児童の様子を見ながら声がけをする。(T 3) ・好きな場面の絵を指し示す方法でもよいことを知らせる。(T 2)
	<p>なお君の気持ちについてかんがえよう。</p>			
	<p>3 なお君の気持ちについて考え、話し合う。</p> <p>①ひとりで留守番をしているとき、なお君はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度調べてみよう。 ・鍵かかっているかな。 ・ひとりでは、嫌だ。 ・寂しいな。 ・緊張する。 ・怖いな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留守番を初めて取り組む不安感を体験と重ね合わせて、自分の言葉や表情で発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、初めて留守番に挑戦するときの気持ちを発表できるように支援をする。(T 2)

<p>つ か む 24 分</p>	<p>②「雨ですよ。」と、おばさんに言われてベランダにある洗濯物を見たとき、なお君はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>③「だいじょうぶ。おばさんが、行ってあげるから。」と言って洗濯物をかけてくれたとき、なお君はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>④おばさんが帰った後、なお君はどんなことを思ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりじゃ取れない。 ・高くて届かない。 ・洗濯物がいっぱい。 ・どうしよう。困った。 ・どきどきする。 ・緊張する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう、おばさん。 ・ぼくも一緒に手伝うよ。 ・ぼくのために来てくれたんだ。 ・おばさんがいてくれて、安心。 ・おばさん、優しいね。 ・よかった。・安心。 ・おばさんのおかげで、洗濯物がぬれなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高い所にある洗濯物を自分ひとりで取り込むことができませんに困っている気持ちを役割演技を通して、捉えることができるようにする。 ◆洗濯物をかけてくれたおばさんに対するなお君の感謝の気持ちを役割演技を通して、捉えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技をする児童が安全にできるように支援を行う。(T2) ・児童が発言できない場合、児童のモデルとなる発言をする。(T2) ・つぶやきや表情や自分の言葉で表現できるように支援をする。(T2・T3) ・気持ちをつぶやきや自分の言葉で表現できるように支援をする。(T2・T3) ・役割演技をする児童が安全にできるように支援を行う。(T2) ・児童が発言できない場合、児童のモデルとなる発言をする。(T2)
<p>広 げ る 10 分</p>	<p>4 感謝の気持ちをもった経験について話し合う。</p> <p>○友だちや周りの人たちへ「ありがとう」の感謝の気持ちをもったことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの家洗濯物を入れてくれてありがとう。 ・ありがとう、おばさん。 ・ほめられて嬉しい。 ・嬉しいな。 <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんに。 ・歩香さんに。 ・6年生に。 ・お母さんに。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日記文や作文を読むことにより、家庭や学校では、自分たちが多くの人たちの支えにより生活をしていることに気づくことができるようにする。感謝の気持ちを友だちや家族や地域の人たちへ伝えることができる手立てとする。 ・日常の生活を想起するために写真提示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、学校や家庭などの日常生活の中でありがたの感謝の気持ちを伝えてよかったことを思い出すことができるように補助説明をする。(T2) ・児童が、自分の思い通りにいかないときや集中が途切れる場合は、声がけをする。(T2・T3)
<p>ま と め る 6 分</p>	<p>5 図書ボランティアの方のお話を聞く。</p> <p>○紹介します。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティアの方は、どのような願いをもっているか伝え、子どもたちの感謝の気持ちを深めていきたい。 ・本時のがんばりを称賛し、これからの学習意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が話を最後まで聞くことができるように、児童の様子を見ながら声がけをする。(T2・T3)

6 板書計画

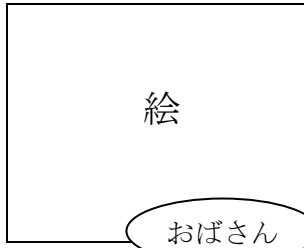
うれしいな
ありがとう



おばさん

こまっ
たこと
があ
った
らっ
しや
い。

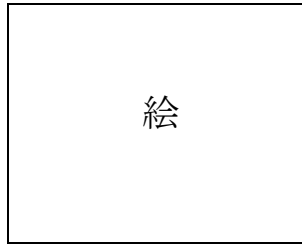
洗濯物を入れてく
れてありがとう。



おばさん

だいじ
ょう
ぶ。

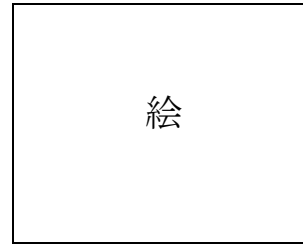
おばさんありが
とう。
優しいね。



お昼

空が暗く曇った感じ。

高くて届かない。
洗濯物いっぱい。
どうしよう。



ひとりで留守番

鍵がかかって
いるかな。
さびしいな。
怖いなあ。

男の子

はじめての おるすばん

7 資料分析

資料名 はじめての おるすばん

(出典 日本標準 みんなでかんがえるどうとく 1年)

ねらい お世話になっている人たちに、感謝の心をもって接しようとする心情を育てる。

